

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-3 青少年の健全な育成の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 青少年家庭課長 黒田利恵 電話番号 0852-22-5242

事務事業の名称	困難を有する子ども・若者支援事業	
目的	(1) 対象	社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者やその家族
	(2) 意図	社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者やその家族が相談や自立に向けた必要な支援を受けることができる。
事業概要	社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者を対象とした相談や自立支援などの取組みを進めるため、市町村における支援体制を整備・充実させる。 「市町村体制整備事業」：困難を有する子ども・若者の総合相談窓口の設置や支援体制の充実、支援活動の推進など相談支援体制の整備・充実を図る市町村に対し、補助金を交付する。 「島根県子ども・若者支援地域協議会運営事業」：子ども・若者を支援する関係機関で構成される「島根県子ども・若者支援地域協議会」の効果的な運営により、県内の支援体制の充実や県民への広報啓発を図る。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		7.00	10.00	13.00	
式・定義	県内全市町村のうち、子ども・若者総合相談窓口を設置した市町村数	実績値	4.00	5.00	7.00	8.00		
		達成率		71.40	70.00	61.60		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
								目標値
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	22,265	2,117
うち一般財源(千円)	12,265	2,117

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

県内において総合相談窓口については8市町、子ども・若者支援地域協議会については5市町が設置した。
 平成26年10月現在において、都道府県を含む全国約1800自治体のうち、総合相談窓口設置は78か所、協議会設置は75か所であり、体制整備については格段に進んでいる。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

数値目標には至らなかったものの、相談支援体制は整備されてきた。
 県地域協議会運営事業により、広報啓発活動を拡充したため、県民の理解が進んできた。
 民間団体による支援促進事業により、自立支援に向けた民間団体と市町村の連携が進んだ。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 各市町村において考え方や取組に温度差が見られ、相談支援体制に市町村格差が出てきている。
 - 相談支援に引き続き自立に向けた支援の受け皿（つなぎ先）が不足している。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 各市町村とも厳しい財政状況や人員不足の中、子ども・若者支援の取組について優先度が低くなる傾向にある。
 - 子ども・若者が抱える困難が複雑多様化しており、それに対応できる人材や民間団体等の受け皿が不足している。
- ③原因を解消するための「課題」
- これまでに設置された総合相談窓口や地域協議会を活用し、窓口が設置されていない市町村においても当事者が支援を受けられる体制の構築が必要である。
 - 子ども・若者に関する多様な相談や複雑困難化する課題に対応できる人材や民間団体等の受け皿の育成が必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

当事者が身近な地域で支援を受けられる体制を構築するため、子ども支援センターにあわせて総合相談窓口を設置している松江・出雲・浜田・益田の4市を中心に周辺市町村との連携を図り、ネットワークを整備する。
 相談支援に対応できる人材を養成し、専門的知識の習得により資質向上を図るとともに、自立支援の受け皿となる民間団体や協力企業等の拡充を図る。
 県子ども・若者支援地域協議会運営事業により、関係機関との更なる連携強化を図る。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）